

第4回目まっかりみらい会議結果

日時：平成31年1月30日（水）午後6時30分～8時20分 場所：役場2階会議室

参加：21名（3グループに分かれグループワーク実施）

○挨拶（総務企画課酒井参事）

○事業説明

目的～ステップ1（話す）⇒ステップ2（共有）⇒ステップ3（行動）

ルール説明～①発言を否定しない、②みんなが発言できるように、③だらだらと話さない、
④はなしやすい空気感を大切に

前回の振り返り～前回のテーマ「人口減少と高齢化について」

グループ分け（くじ引きでA～Cグループ）

アイスブレイク～二画の漢字（全29）



○グループワーク「人口減少になったら困ること」

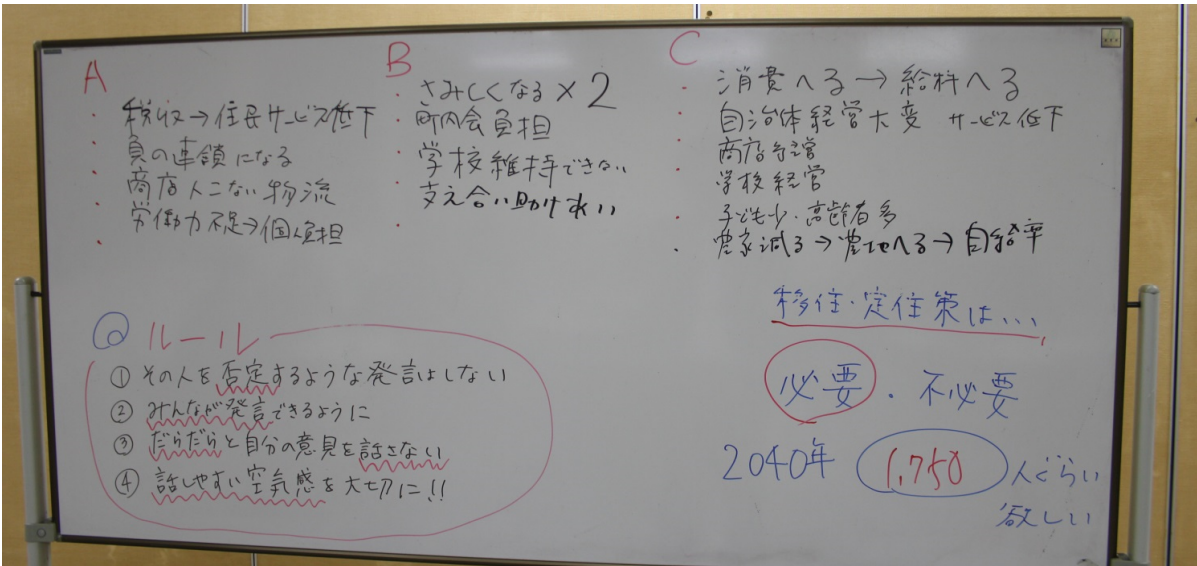
各グループで人口減少になったら何が困るのかということ共有しました。

※グループで出た意見

- ・地域経済の衰退（商店・金融機関・ガソリンスタンド・整備工場・・・）
- ・教育環境が維持困難
- ・自治会などのコミュニティ維持
- ・医療過疎
- ・医療費負担が大
- ・公共交通維持困難
- ・話し相手
- ・子どもの活動（スポーツ）
- ・商店の売上減少
- ・経済が回らなくなる（村の財政・仕事・商店）
- ・村の活気が無くなる（いろいろな活動の減少）

- ・子ども減少（教育・子育て）
- ・役場をはじめいろいろな運営が出来なくなる
- ・村内に知り合いが減って孤独に
- ・まちの昔のことなど、そのまちを知る人がいなくなる
- ・子どもができたとき、寂しい
- ・施設の老朽化⇒放置
- ・より人を呼ぶ工夫が必要になる差別化必要
- ・担い手～若い人が大変
- ・外国人で治安が悪くならないか
- ・友達が減る
- ・お金が流通しない（消費が無くなる）⇒商売が×⇒雇用が減る
- ・役場存続が？（合併）
- ・人が余り、人が足りなくなる（仕事が減る⇒若者が去る・高齢者増加⇒看病する人がいない）
- ・介護人員減、税金減、福祉サービス減
- ・公共施設維持困難、移動手段・除雪体制
- ・教育（特に高校以上）
- ・医療関係（施設無くなる）
- ・商業施設減
- ・農業人口減⇒食料自給率減⇒農地余る
- ・自治体の存続（税金が減る・商店無くなる）
- ・若い人は出て行き、高齢者が増えると地域で支えることが出来ない
- ・担い手がない（仕事・町内活動・サークル活動）
- ・税金減（負の連鎖に）
- ・地域コミュニティが衰退
- ・介護してくれる人がいない
- ・商店が無くなれば生活できない
- ・水道料など民営化
- ・離農（食料自給率下がる）農家人口減
- ・学校運営
- ・自治体として成立しない（税金）
- ・いろいろな不都合が生じる（人口減・子ども減・高齢化）
- ・商店や学校（人口減少により、今の現状は保てない）
- ・税金減⇒福祉の衰退⇒さらに人口減
- ・地域コミュニティの欠落⇒寂しい
- ・税金が減る
- ・少子化で学校存続が困難
- ・活気が無くなる
- ・農業人口が減ると農地が余る
- ・町内会費が集まらない、地域コミュニティの崩壊
- ・学校運営
- ・病院
- ・コンビニ
- ・サービスの低下⇒負担増





主な意見は「**税収減による住民サービスの低下**」、「**地域経済の低迷**」、「**労働力の不足**」、「**学校の維持**」、「**地域コミュニティ維持**」で人口減少による不安を共有できた。その上で「**移住・定住策を推進していくこと**」が「**必要**」との意見にまとまった。

人口規模については、過去20年間で500名程度減少した実績と近年の地方創生の取組による人口減少の鈍化などから2040年に1750名（250～300名程度の減少）ぐらいを目指してはどうかという意見があった。

○真狩村及び国の地方創生の動きと全国の移住・定住策について

- ・人口減少の現状～全国1.43（目標1.8）、全国1位沖縄（1.94）、2位宮崎（1.73）、北海道は46位（1.29）。真狩は20～24年で1.31（年間14名の出生）。果たして1.8は全国で達成できるのか？人口減少の進みが速い可能性あり。
- ・東京一極集中の傾向～年間10万人以上が東京に。災害リスクあり。
- ・地域経済～所得格差があり、地方では人手不足に。
- ・地方が「自助の精神（自分たちでやっぺいこう）」の精神で、意欲と熱意がある地域の取組みを国が支援する。つまり、やる気と熱意が無ければ・・・
- ・基本目標～①地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする、②地方への新しいひとの流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
- ・真狩では人口2,000人を維持するため、様々な地方創生の事業を展開している。次の計画には更なるやる気と熱意が必要。
- ・全国の移住・定住の事例を紹介

○グループワーク「これからの移住・定住策について」

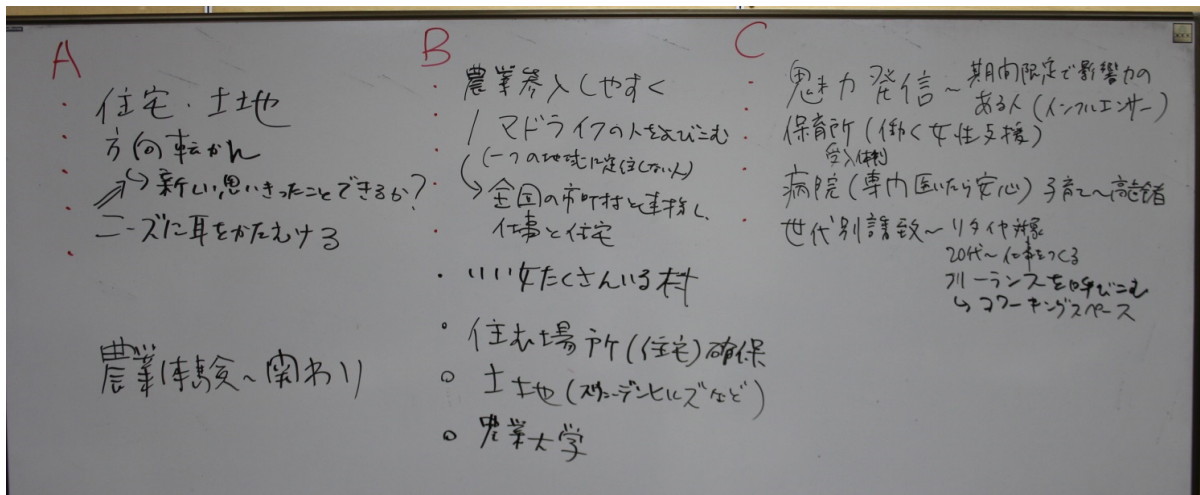
各グループでこれからどんな移住・定住策やっていけばいいのかアイデアを共有しました。

※グループで出た意見

- ・安心して死ねる環境づくり（教育費・医療費の無料化）
- ・大胆な方向転換が必要
- ・農地転用⇒ホテル・企業誘致 ※土地を無料化
- ・良いところをアピール（除雪・自然）
- ・交通の整備（倶知安へのバス）
- ・若い人が働く場所
- ・法律の柔軟化（住宅法）
- ・子どもの家賃補助（移住）
- ・長期及び短期の住宅政策
- ・人材誘致（自然が好きな人）
- ・ニーズの収集⇒方向性を決める
- ・コンパクトシティ（ビレッジ）の形成（小さくても良い）
- ・広域で連携し役割を分ける
- ・高校からの専門学校設置
- ・食材を活用した展開
- ・公共交通機関（村内・村外）足の確保
- ・子どもの遊べる場所（公園・土日）
- ・住宅建設補助（1年目公共料金無料）
- ・病院（専門医がいつでも見てくれる）
- ・仕事の確保
- ・保育所の体制整備（働きたくても働けない）もっと柔軟な対応
- ・買い物（紙パンツ・ミルク・離乳食など）が村内で買えない
- ・アパート（住むところがあれば人が来るのでは？）
- ・サ高住の誘致
- ・子育て支援の取組み
- ・福祉の取組み（高齢者になっても住み続けられる）
- ・土地や家など移住者に提示できれば
- ・お金以外の価値をつけた仕事を作る（20代）
- ・リタイヤ組誘致
- ・次世代のため、帰ってきたくなるまちづくり
- ・PR活動
- ・素朴さ
- ・新規就農者へ農業技術の継承⇒定住
- ・安定した仕事をつくり、道外から20代の若い世代を呼び込む（不安の解消）
- ・起業への支援
- ・移住への支援
- ・福祉と子育てのインフラづくり（30～40代の呼び込み）
- ・リタイヤ組のセカンドハウスを好条件で呼び込み（50代・60代～）
好感持てる・地価安定・資産作り
- ・移住した子どもたちが、住み続けられる又はUターンしたくなるまちづくり
- ・ブランドをつくる
- ・住宅の建設
- ・サ高住の誘致
- ・子育てに関する祝い金

- ・移住者に住宅の補助金
- ・大都市で真狩の良さをPR
- ・1年間公共料金無料
- ・公営住宅の建設
- ・真狩の魅力（自然・観光地に隣接）を発信する
- ・農業就業者を募集（就農希望）
- ・移住定住の希望者をコーディネートできる場と人材
- ・世代のより住みたくなる条件を考える
- ・公共交通機関、公園が近く、便利屋さん
- ・移住体験
- ・子育て支援の取組み
- ・移住を希望する人の条件（家・土地）
- ・住宅（空き家が無い・所得制限・ペット・街場・自然）
- ・仕事の確保
- ・交通インフラ
- ・生活不便の解消
- ・女性がたくさんいると男性は集まる
- ・大学を創る
- ・外の人を受入
- ・スウェーデンヒルズを真狩へ
- ・家と仕事をセットで4ヶ月住んでもらう（ノマドライフスタイルをサポート）
都会⇒村⇒海⇒山
- ・景色が好きな人に住んでもらい情報発信
- ・住んでいる人のノルマ～10年住んだら100万円、15年なら・・・
- ・公営住宅進めても（所得制限・ペット禁止）・・・
- ・「住宅」＋「仕事」＋「情報発信」
- ・新規就農への流れがある仕組み
- ・役場の入口をウェルカムの雰囲気にする（例：豊浦）
- ・農業参入しやすくする
- ・空き農家の建物を活用
- ・大自然を活かして、サ高住（お金持ちターゲット）とバリアフリーのホテル（外国人も）を建設
雇用の増大、地産地消（ゆり根のフルコースなど）
- ・「人」を大切にする（来てくれる事が当たり前でなく、ありがとうの精神）
- ・移住の問合せ対応でその自治体の印象が決まる
- ・宅地、水（自然）、女性の働ける環境、街の景観（電柱）
- ・村をPR（ニセコやルスツリゾートへ）
- ・体験移住（公共料金を無料）
- ・リタイヤ農家の継承





「住宅」と「仕事」をセットにした政策を展開したらどうかとのアイデアが多くを占めた。また「子育て支援環境の整備」や「医療の確保」など生活環境を整備し呼び込む方策や、ニーズをきちんと調査し、新しく思い切ったことが必要ではという意見もあった。全国の市町村と連携し仕事と住宅を提供するアイデアや魅力発信をどういう手法でやったらいいかなど前向きな意見交換となりました。

どういう人(性別・年齢など)をターゲットに、他の自治体と差別化し、いかに斬新で真狩らしい方策を提供できるかが今後の鍵となるのではないのでしょうか。

参加して頂いた21名の皆さん、お疲れ様でした！
さて、次回はとうとう今年度の最終回(2月26日火曜日)となります。皆さん、是非参加をお待ちしています！